

ゴールデンウィーク期間中の 外来診療態勢について

■5月1日～4日は亀田クリニックをオープンします

5月1日の新天皇即位に伴い、今年のゴールデンウィーク(以下GW)は「国民の祝日に関する法律」により10連休となりました。亀田クリニックでは、日曜・祝日休診とさせていただいておりますが、連休による診療への影響等を慎重に検討を重ね、5月1日(水)から4日(土)はクリニックを開け、外来診療を行うことといたしました。

ただし、当法人ではGW期間中、全事業所で20年ぶりとなる電子カルテシステムの入替えを順次行う計画です。亀田クリニックについては、4月28日・29日に入替え作業を行い、5月1日からは新電子カルテが運用開始となります。電子カルテの移行にあたっては、システムトラブルを防ぐために万全の体制を整えておりますが、多少の混乱や診察時間・待ち時間が少々長くなる

事が予想されます。そのため、この間は診療予約や当日受付を半分程度に抑えて診療をいたします。皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

■5月1日より自動再来受付機を導入します

また5月1日からは、「自動再来受付機」を導入いたします。予約をお持ちの方は、まずは1階・2階に設置される「自動再来受付機」で受付を済ませてから、各種検査や各科ブロック受付へ向かっていただくようお願いいたします。なお、予約のない患者さまについては、これまでどおり1階「総合受付」へお越しください。

そのほか、診察室への呼び込みも氏名から番号呼出に変わりますのでご注意ください。

○：通常どおり △：予約を縮小して診療 ×：休診

4月27日(土)	4月28日(日)	4月29日(月)	4月30日(火)	5月1日(水)
		昭和の日	祝日法による祝日	新天皇即位の日
○	×	×	×	△
5月2日(木)	5月3日(金)	5月4日(土)	5月5日(日)	5月6日(月)
祝日法による祝日	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日
△	△	△	×	×

房総がんケアフォーラム テーマ:癒しの力を高めるヒント



3月16日(土)午後1時30分から亀田総合病院Kタワー13階ホライゾンホールを会場に、「第11回房総がんケアフォーラム」を開催いたします。

昨年に引き続き、NPO法人サイモントン療法協会 副理事長の田村祐樹先生を講師にお迎えし、「癒しの力を高めるヒント～サイモントン療法(心理療法)から～」というテーマでご講演いただきます。

「サイモントン療法」は、米国放射線腫瘍医カール・サイモントン氏によって開発されたがん患者さまとご家族(サポーター)への心理プログラムです。フォーラムではワーク&シェアタイムを設けながらサイモントン療法が提唱する「癒しの力を高める」ポイントについてご紹介いただきます。

当日参加も可能ですが、人数把握のため、3月9日(土)までに電話またはFAXにて、参加者のお名前のご連絡先を添えて、お申込ください。(参加費無料)

【申込・問い合わせ先】

亀田総合病院 がん拠点病院推進センター
TEL: 04-7099-1230 / FAX: 04-7099-1231
(担当: 大橋・黒川・唐鎌)

インフルエンザが大流行！ 対策強化にご協力を

インフルエンザが猛威を振るっています。当院では、院内でインフルエンザの流行を起こさないため、3月31日(日)までの間、下記のとおりインフルエンザ強化対策を実施しています。(※インフルエンザの流行状況により対策期間を延長する場合があります)



■入院患者さまに対する対策

⇒入院時に、Kタワー1階ロビーにて、インフルエンザの症状がないか確認を行います。

⇒入院中の外出・外泊は原則禁止いたします。

■(患者さまのご家族を含む)面会者に対する対策

⇒熱・咳・下痢・嘔吐などの症状がある場合、面会はできません。また中学生以下のお子さまの面会はお断りいたします。

⇒病棟へ立ち入る前に、毎回スタッフが健康状態の確認をいたします。病棟に入る前は手を消毒し、マスクをつけてください。

また、他の人への感染を防ぐため、咳・くしゃみが出る時は、マスクやハンカチ、袖で口元を覆う「咳エチケット」を心がけましょう。

知ってスッキリ! おしりの悩み

消化器外科 角田明良



第11話 直腸脱の治療

はじめに

直腸脱とは、直腸が肛門の外に出てしまう病気です。高齢の女性に多い病気で、直腸が脱出するだけではなく、しばしば便もれ、粘液のもれや便秘をきたします。脱出する直腸の長さは2~3cmの短いものから10cm以上の長いものまでさまざまです。

直腸脱の原因はなんですか？

基本的に加齢や分娩などで骨盤底の組織が脆弱になっていることが挙げられますが、以下の二つの説があります。直腸が小腸などのおなかの臓器に圧迫されて脱出する説と、直腸自体が内側に折り込まれる「直腸重積」が重症化して、肛門外に脱出するという説です。

直腸脱で便もれが生じるのはどうしてですか？

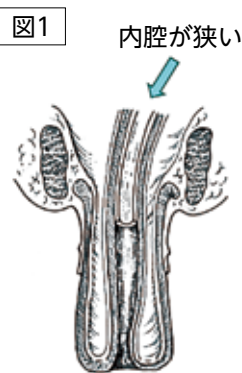
直腸が肛門を通過して肛門外に出たり、また元に戻ったりすることの繰り返しにより、肛門のしまりをつかさどる肛門括約筋の力が弱くなるためです。

直腸脱で便秘を訴えるのはどうしてですか？

もともと便秘がちの方に多い病気ですが、直腸脱では直腸の内腔が狭くなるために、便が排出しにくくなるので、便秘を訴えるのです(図1)。

内科的な治療はありますか？

直腸脱に内科的治療はありません。直腸脱はきわめて物理的な病気で、本来あるべき直



腸がその場所から逸脱して肛門外に脱出するので、治療は直腸が脱出しないように手術をするしか方法がありません。

直腸脱にはどのような手術をするのですか？

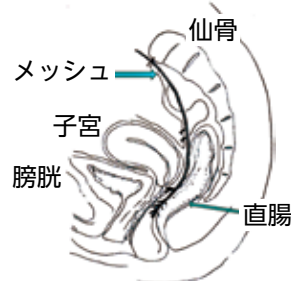
肛門からアプローチする手術と腹部からアプローチする手術の二つに分かれます。多くの手術がありますが、当院では前者としてデロルメ法、後者として腹腔鏡下直腸固定術を行っています。

1) **デロルメ法**：脱出した直腸の粘膜を切除してから、直腸の筋肉を縫い縮める方法です。腰椎麻酔で行える安全な方法ですが、再発率が約20%と高率なのが難点です。

2) **腹腔鏡下直腸固定術**：

メッシュといって、布のようなもので直腸を仙骨に固定する方法です。全身麻酔が必要ですが、手術時間はだいたい2~3時間で、再発率が約2%と低率ですので(図2)、積極的に行っています。

図2



入院期間はどのくらいですか？

デロルメ法も腹腔鏡下直腸固定術も2泊3日です。痛みがあれば、3泊4日になることもあります。

退院後の通院はどうなりますか？

手術後1週間で外来診察をします。排便コントロールのために内服薬を処方します。

手術をしたら便もれや便秘は治るのですか？

直腸脱の手術の目的は直腸脱の消失と、便もれや便秘などの排便障害の緩和です。手術で直腸の脱出はなくなりますが、便もれや便秘には食事療法や内服治療が必要ですので、患者さまにあった処方をみつけなければなりません。手術後は長いお付き合いになります。

医師紹介

こんどう
近藤

あつし
敦 医師

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



①新生児科(医長)

②新生児、胎児超音波

③バスケットボール、アンティーク・ヴィンテージ蒐集

④胎児期から出生後まで赤ちゃんのご家族をサポートいたします



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <http://www.kameda.com>